

2018 年 8 月 8 日

関係会員 各位

(一社) 日本自動車車体工業会
中央技術委員会

燃料タンクを交換・増設する場合の新規検査について
(第 1 弾：継続生産車編)

2015 年 6 月 15 日の保安基準の細目告示等（以下「細目告示」という。）の改正により、燃料タンクの強度、構造、取付方法等に関する技術的要件として協定規則の第 34 号（第 3 改訂版）が採用され、本年 9 月 1 日以降の新型車から順次適用されることとなりますが、継続生産車（新型の認可を受けた日が 2018 年 8 月 31 日以前であって、2018 年 9 月 1 日以降も継続生産されるものをいう。）については、今後も旧基準タンクへの交換・増設が可能となっています。（別添 1「UN-R34 の適用について」参照）。

つきましては、燃料タンクを交換・増設する際に旧基準タンクを採用した自動車について、その取扱いを下記のとおり定めました。本取扱いは本年 9 月 1 日以降の新規検査の混乱を避けるため、（独）自動車技術総合機構と相談の上定めたものです。ご理解の程よろしくお願いいたします。

また、新型車（新型の認可を受けた日が 2018 年 9 月 1 日以降のものをいう。）の燃料タンクには、前述のとおり UN-R34 への対応が必要となりますが、その場合の細かな取扱いについて、現在同法人と調整中です。決まり次第第 2 弾としてお知らせいたします。

記

1. 新規検査届出書 第 1 号様式（その 1）の別紙への記載について

当該自動車継続生産車であることを次の記載例をご参考に記載願います。

【記載例】

「当該自動車の新型の認可年月日（届出年月日）が 2018 年 8 月 31 日以前であるため、燃料タンクは旧基準適用」

（別添 2「新規検査等届出書 第 1 号様式（その 1）別紙 ver3.1」参照）

2. 添付資料

前項の自動車であることの裏付けとして、当該自動車の諸元表（型式と認可年月日を確認できる頁）の添付が必要となりますので、販社にお願いしてください。

なお、諸元表の添付は、審査事務規程の別添 2（新規検査等提出書面審査要領）において既に提出が義務付けられているので、新たな資料要求するものではありません。

3. 運用開始

本取扱いは、2018 年 9 月 1 日以降に新規検査を受ける自動車について運用していただきますようお願いいたします。（それ以前に開始することは問題ありません。）

4. その他（シャシメーカーへの依頼）

本取扱いに関しシャシメーカーに対し以下の依頼を行っています。

- ① 諸元表の添付に関し、系列の販社への情報提供と協力依頼
- ② 架装要領書への認可年月日の記載

以上